

令和7年度事業報告

令和8年5月21日
一般社団法人日本音響材料協会

1. 継続事業(公益事業)

(1) 継-1 事業 (JIS 原案作成団体業務)

JIS A 6301 2019 年公示後のフォロー

JISA9521 建築用断熱材に掲載されているグラスウールの密度のなかで JISA6301 吸音材に含まれていない 14K、36Kの密度のものを JIS 規格の吸音材として使用したいとの要望がグラスウールメーカーよりあり、令和8年度より改定手続きを進める。

(2) 継-2 事業 (機関誌発刊等の出版事業)

1) 機関誌「音響技術」通巻 210 号～213 号の発刊

- ・NO.210 号(令和7年6月発刊) : 令和7年1月14日編集会議
- ・NO.211 号(令和7年9月発刊) : 令和7年4月14日編集会議
- ・NO.212 号(令和7年12月発刊) : 令和7年7月15日編集会議
- ・NO.213 号(令和8年3月発刊) : 令和7年10月14日編集会議

[編集委員] (任期：令和7年4月～令和9年3月)

委員長 佐久間哲哉(東京大学大学院 工学系研究科 建築学専攻 教授)

委員

富田隆太(日本大学 建築学科 教授) 中川武彦(榊竹中工務店技術研究所) 富高 隆(大成建設(株)技術センター)

土屋裕造(戸田建設(株) 技術研究所) 杉江 聡((一財)小林理学研究所)

箱崎文子(榊永田音響設計) 星野 康(日本環境アメニティ(株)開発技術部) 事務局 猪脇章雄(日本音響材料協会)

2) 機関誌「音響技術」の新規購読会員の獲得

現状の購読会員数 210 名を 10 名新規の獲得。

方法:①大学の建築学部環境関係者、産業技術センター等に1年間無償で「音響技術」を送付

し、よければ年間購読へ移行⇒何度かトライしたが、成約には至らず現状維持

②未加入の執筆者、謹呈者を年間購読へ移行

③非会員の講習会参加者への勧誘⇒講習会時に購読会員の紹介をするも数社程度の入会であった。

④理事会メンバーからの勧誘で新規顧客を増やす⇒理事からもお願いした。

⇒鉛シートの三井金属エンジニアリングに訪問したが、積極的に販売していないため入会にはいたらず。

2. その他事業(収益事業)

(1) 他-1 事業 (測定、検査等受託業務事業)

- 1) 音響材料及び建築物の音響性能調査、分析業務の受、委託の拡大
前年度のゼオン化成(株)様のように、各社抱えている技術問題について

日本大学 井上先生と相談の機会を設定。⇒ゼオン化成のカタログデータの依頼あり

- 2) 一般財団法人小林理学研究所への測定依頼業務の拡大⇒マグ・イゾベール、ゼオン化成2件
受託業務拡大のために会員(正会員、研究・賛助会員、購読会員)に5%引きメリットを知らしめる
時期を見て小林理研研究所の見学会実施する。
- 3) 新規入会時【音響技術】会員の頁にPR原稿の掲載を条件に賛助会員へ勧誘
先生の紹介、理事会社の協力会を通じて勧誘⇒A&A マテリアル 賛助会員、ヤクモ 理事へ
JFE ロックファイバーに井上先生を紹介し、賛助会員の入会を依頼

他-2 事業（講習会開催事業）

- 1) 技術講習会開催 1回 : (令和7年11月27日、大建工業セミナールーム) 41名フル参加
- 2) 音響基礎講習会 1回 : (令和7年7月3日、大建工業セミナールーム) 40名フル参加
- 3) 勉強会 0回 : (令和7年未定)
- 4) 見学会 1回 : (令和7年10月7日、奥村組研究所つくば) 23名フル参加
(令和8年2月17日 DAIKEN 岡山音環境ラボ) 19名フル参加

3. 次期役員について

(1)次期理事、監事候補

マグ・イゾベール佐治猛氏12月末辞任につき、三和裕一氏を理事へ
日本音響エンジニアリング山梨忠志5月総会時辞任につき、山下晃一氏を理事へ
その他の理事、監事は2年目を継続

4. 事務局運営体制の検討の推進

・「音響技術」の発送のシステムの効率化

⇒HPの活用:検索システムの改善を実施し、過去のテーマが検索可能にした。R8年度より実施

5. 会議、定例行事

(1) 定時総会 令和7年5月22日(木) (於：日本ガラス工業センタービル B1 会議室)

総会議事録

[報告事項]

令和7年度事業計画と予算について

議長の名指により、専務理事から議案書の報告書に基づき、3月度理事会で審議、決議した
令和7年度の事業計画及び予算について説明があり、全員異議無く、報告を承認した。

[審議事項]

第1号議案

「令和6年度事業報告の件」

第2号議案

「令和6年度会計報告及び監査報告の件」

議長は第1号議案及び第2号議案の両議案について、関連があり一括審議とするとした。議長の指名により、専務理事から議案書に基づき事業結果と決算内容の詳細説明がなされた。その後、監事を代表して一色監事より会計監査並びに業務監査について、決算報告書は決算の状況を正しく示していると共に業務運営の状況を正しく示しているものと認めると共に理事の職務執行に関し、不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実認められないとの報告があった。議長は議決を求め全員異議無く、第1号議案及び第2号議案を原案通り可決、承認した。

第3号議案

「令和7年度理事選任の件」

専務理事より令和6年度第3回定時理事会で承認を得た理事候補を紹介した。

任期は令和7年5月総会より令和8年5月総会までの1年間

令和6年12月末辞任した佐治 猛氏（マグ・イゾベール（株）営業部 担当部長）に代わり
三和裕一氏（マグ・イゾベール（株）マーケティング部長）

本総会で辞任した山梨忠志氏（日本音響エンジニアリング（株）代表取締役 社長）に代わり
山下晃一氏（日本音響エンジニアリング（株）取締役企画部 部長）

議長は一人ひとりの議決を求め全員異議無く、第3号議案を原案通り可決、承認した。

(2) 理事会 3回 令和7年5月22日(木)、11月6日(木)、令和8年3月19日(木)

5月理事会議事録

議事事項

(1) 第1議題

「役職理事選任の件」

議長は議題の説明を求め、専務理事から令和7年度から副理事長の役職について説明があった。

令和7年度から1年間 副理事長の役職については下記の通り提案された。

令和7年度 副理事長 三和裕一理事

議長は、場に質問及び意見を求めたが特に無く、全員異議無く提案通り承認、決議した。

(2) 第2議題その他

最後に専務理事より令和7年度の日程について説明があった。

令和7年度日本音響材料協会役員のリストを配布した。

その他

協会の在り方について議論あり。

協会の存在意義を示す上で、まずは音に関するの困り事を集めて、それを学術的なアプローチで問題解決に向けていく。

以前から小学校の音の問題について、明確な規格がないことなどがその一例

その他、今年の賀詞交歓会で技術の人が集まらなかった反省を踏まえ一工夫する。

11 月理事会議事録

議事事項

第 1 号議題

「令和 7 年度中間業務報告及び会計見通し報告の件」

議長より担当者に報告を求め、専務理事より中間期の業務報告及び上期決算と下期見通しについての報告があり、全員より一括にて承認を得た。

説明内容

収入面では、機関誌「音響技術」の購読会員は、京都大学、広島工業大学、問合せ先への勧誘で 4 社入会し、下期に 6 件の入会と目論む。小林理研の受託で、ゼオン化成、マグ・インゾバールの 2 件の物件があった。

法人会計では、7 年予算に㈱ピアリビング年会費 30 万円が織り込まれておらず、管理面では、通信運搬費は宅急便、切手等の大幅アップとインターネットバンキングによる支払手数料が増えたが、トータルとして令和 7 年度予算より 20 万円程増える見込みとなる。

新規会員を増やす。鉛遮音シートの三菱金属エンジニアリングへアプローチ←1 月 27 日に面談結果は鉛シートについては技術者もいないため積極的に販売していない模様

第 2 号議題「理事候補について」

令和 8 年度は改選期につき、従来の理事が重任として理事候補となった。

期間:令和 8 年 5 月 21 日～令和 10 年 5 月総会までの 2 年間

三和 裕一	マグ・インゾバール(株) マーケティング部長
田中 英明	パラマウント硝子工業(株) 営業本部 業務推進部 部長
菅 優行	旭ファイバーグラス(株) 取締役 上級執行役員 生産本部本部長
長谷川知哉	吉野石膏(株) 取締役 商品開発部長
山下 晃一	日本音響エンジニアリング(株) 代表取締役
農野 昇一	DAIKEN(株) 音響製品部 部長
井上 勝夫	(学識経験者・個人) 日本大学 名誉教授
小山 雅功	(個人正会員)
猪脇 章雄	(個人)

正会員の中から 1 社理事に上げて、現状 9 名の理事を 10 名にすることを検討←ヤクモ(株)舟木社長に理事候補の快諾を得た。

第 3 号議題「監事候補」

令和 8 年度は改選期につき、今期一色伸悟 監事退任のため、下記の 2 名が監事候補となった。

期間:令和 8 年 5 月 21 日～令和 10 年 5 月総会までの 2 年間

三木 良明	ゼオン化成(株) 技術部
三好 康弘	日本環境アメニティ(株) 代表取締役社長

第 4 号議題「その他」

1.「配管系から発生する音や振動の制御についての JIS 化」

—下記の内容に関して、前向きに検討・審議を続けることとし、詳細については、後日井上先生と WEB 会議を開催し詳細を確認する(予定)—

現在、建築物の排水管から発生する音や振動に対するクレームや問題が頻繁に発生しているが、排水管の中で特に縦方向の排水管から発生する音や振動の問題は大きく、現状では、現場ごとに防音、防振方法を検討し、実現場での問題を最小限に抑えるような対応を行っている。

本 JIS においては、排水縦管を想定し、排水条件として一斉排水として 3 住戸～4 住戸のトイレ排水時を想定して 200ℓ/分程度を条件に実配管から発生する音の制御量を計測する方法を規定する。

3 月理事会議事録

議事事項

(1)第1号議題

「令和 7 年度決算(推定)(案)報告(総会議案書として検討、承認)の件」

議長の名指により、専務理事より「令和 7 年度事業結果報告(案)」、「令和 7 年度決算推定(案)」

「令和 7 年決算報告書(正味財産増減見通し)(案)」について説明がなされ、全員異議なく報告を原案通り承認、決議し、令和 8 年度定時総会の議案として提議することとした。

(2)第 2 号議題

「令和 8 年度事業計画(案)と令和 8 年度予算(案)の承認について」

専務理事より「令和 8 年度事業計画(案)」について説明した。

続いて「令和 8 年度予算(案)」について説明した。

議長は、場に質問及び意見を求めたところ、

支払金額が大きい印刷代について前年度並みでは、過小ではないかという問いに、印刷会社に見積り依頼をして再度確認するが、もし値上げがあっても他の支出の削減等穴埋めすることで提案の令和 8 年度予算を全員異議無く可決した。

(3)第 3 号議題

「令和 8 年(第 78 回)定時総会議案書(案)承認及び第 1 回理事会開催について」

専務理事より「令和 8 年定時総会議案書(案)」を説明し、その後「第 1 回定時理事会招集(案)」についても説明した。

議長は、場に質問及び意見を求めたが特に無く、全員異議無く提案通り可決した。

(4)第 4 号議題

「令和 8 年度理事候補承認について」

専務理事より資料 6 の「令和 8 年度一般社団法人日本音響材料協会役員候補(案)」を説明した。

令和 8 年度定時総会で 2 年任期の改選期にあたり、選任する理事候補として

三和裕一氏(マグ・イゾバール(株)マーケティング部長)

田中英明氏(パラマウント硝子工業(株)営業本部業務推進部 部長)

菅 優行氏(旭ファイバーグラス(株)取締役 上級執行役員生産本部部長)

長谷川知哉氏(吉野石膏(株)取締役 商品開発部長)

山下晃一氏(日本音響エンジニアリング(株)代表取締役)

虫明恒一氏(DAIKEN(株) 音響製品部 部長) **新任**

舟木英之氏(ヤクモ(株) 代表取締役社長) **新任**

井上勝夫氏(学識経験者・個人 日本大学 名誉教授)

小山雅功氏(個人 正会員)

猪脇章雄氏(個人 常勤)

任期:令和8年5月21日～令和10年5月総会

議長は候補者名と所属について読み上げ、全員承認された。

上記の理事候補者を令和8年度定時総会の議案として選任の提議をすることとした。

(5)第5号議題

「令和8年度監事候補承認について」

専務理事より資料7の「令和8年度一般社団法人日本音響材料協会監事候補(案)」を説明した。

令和8年度定時総会で2年任期の改選期にあたり、選任する監事候補として

三木良明氏 (ゼオン化成(株)技術部)

三好康弘氏(日本環境アメニティ(株)代表取締役社長)

任期:令和8年5月21日～令和10年5月総会

議長は候補者名と所属について読み上げ、全員承認された。

上記の理事候補者を令和8年度定時総会の議案として選任の提議をすることとした。

その他

専務理事よりJISA6301(吸音材)改訂について報告あり。

「3月12日硝子繊維協会からJISA9521(建築用断熱材)に掲載されているグラスウールの密度の中で当協会主管のJISA6301(吸音材)に含まれていない密度のものがあり、今後使用したいので、2027年改訂予定時に18K、22Kと掲載したい」との要望があった旨報告した。

「日本音響材料協会・総会、理事会、委員会の日程」

専務理事より「令和8年度の日程について(案)」報告

議長は、その他の議題提議または意見を求めたが特に無く、全議事を終了し閉会を宣した。

(3) 賀詞交歓会 令和7年1月21日(水) (於:アルカディア市ヶ谷) **71名参加**

(4) 運営委員会 各月(於:日本ガラス工業センタービル2F 協会内会議室&リモート)

毎月1回の会合で行事の担当は、進捗状況を報告

令和7年日本音響材料協会年間作業工程参照